2026年　11月吉日
(公財)愛知県サッカー協会　1種委員会社会人
委員長　藤井　祥男

# 第34回　全国クラブチームサッカー選手権愛知県大会　大会要項

期　　日　　2027年 1月10日(日)～　　決勝戦 : 2027年 1月31日(日)
※予備日は設定しません。会場確保状況により、ナイトゲーム開催の可能性があります。

会　　場　　愛知県下各グラウンド

大会組合せ　　2026年11月14日(土)指定した会場に於いて、出場チームの監督(代理でも可)が抽選を行う。

参加資格　(1) チーム
①大会開催年度に愛知県サッカー協会に加盟している1種社会人チームで
愛知県下、各地区社会人サッカーリーグより選出された16チーム。
②2027年8月下旬に開催される東海大会ならびに、9月下旬～の全国大会に出場が可能なチーム。
東海予選 : 静岡県開催　　2027年8月下旬予定
全国大会 : Jグリーン堺　　2027年9月下旬予定
③Jリーグ・JFL・地域リーグ・愛知県社会人リーグ加盟チームならびに自衛隊・自治体職員・大学・高等専門学校の
各連盟に所属するチームは参加を認められない。また、大学・高等専門学校・専門学校の
単独チームも参加を認められない。(但し同一学校の選手が5名以内であれば認められる)

(2) 選手
①大会1回戦開催日 (2027年 1月 10日) までに(公財)日本サッカー協会が登録を承認した選手とする。
②本部に提出するエントリー表に必要事項(背番号・氏名・選手登録番号)を記載し
選手証(登録選手一覧)に写真が登録されていること。
③選手エントリー数は制限しない。大会初戦にてエントリー表承認後の変更と追加は認めない。
(東海大会は規定により選手エントリー数が最大22名までとなるので留意されたい)
④大会期間中に異なるチームに移籍した選手が発生した場合、直後の試合にてエントリー表
を提出する際に本部役員に申告し取り消し処理を依頼すること。その際選手登録一覧も最新のものに更新すること。
⑤選手資格に疑義がある場合は所属地区委員会社会人の意見を求める。
疑いのある場合は1種委員会社会人がこれを裁定する。
⑥出場チームの同一下部組織2種(日本サッカー協会クラブ申請済みクラブ)登録選手に限り、
種別変更(移籍)せず2種登録選手のままの出場を認める。エントリー、出場はともに3名までとする。

(3) 監督証も提出し承認を得ること。 ※監督証には写真が登録されていること。

大会形式　　出場チームによるノックアウト方式を採用し、優勝チームに東海大会の出場資格を与える。3位決定戦は行わない。

競技規則　　大会実施年度(2025～2026年)の(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」による。

競技会規定　(1) ボール
試合球は(公財)愛知県サッカー協会1種委員会社会人から提供する。マルチボールは採用しない。

(2) 競技者の数
①競技者の数　　: 11名
②交代要員の数　　: 7名以内
③交代を行うことが出来る数　: 5名以内
1.交代回数はハーフタイムを除き3回／チームまでとする。
2.決勝戦のみ70分で決着がつかず延長戦に入った場合、交代枠を1名追加する。
④外国籍選手は5名以内の登録、3名以内の出場可
⑤脳しんとうによる交代(再出場なし)の追加について
a. 1試合において、各チームは最大1人の「脳震盪による交代」を使うことができる。
b.「脳震盪による交代」はその前に何人交代要員が使われているかにかかわらず、行うことができる。
c.「脳震盪による交代で入る交代要員」が使われたならば、相手チームは(脳震盪に限らず)いかなる理由であっても
「追加の交代要員」を使うことができる。

(3) 役員の数 : チームベンチに入ることのできる役員の数 : 6名以内
但し、エントリー表でエントリーされた役員(選手)に限る。尚、各チーム初戦のキックオフ45分前までにエントリー表に
追記し会場役員の承認を得ればこの限りではない。

(4) テクニカルエリア : 設置する。
戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1人が伝えることができる。

(5) 試合開始 45分前 までに　大会エントリー表、 当日のメンバー表 4枚、 登録選手一覧表 を
試合会場本部に提出する。

(6) 競技者の用具
①ユニフォーム
大会実施年度(2025年～2026年)の(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に則る。
ユニフォームは組合せの上(左)のチーム「正」、下(右)のチーム「副」を原則とする。
②試合当日は2着用意する。
③アンダーシャツはシャツの袖の主たる色と同じ色でなければならない。
④アンダーショーツ及びタイツはショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。
⑤ストッキング(ソックス)の上にテープやバンテージを巻く、あるいはアンクルサポーター等を着用する場合、
そのテープ等の色はストッキング(ソックス)の色と同系色に限る。
⑥セパレートソックスを履く場合も上下の色は同系色に限る。
⑦全ての装備品については、チーム内で統一色のモノで揃えるものとする。
⑧貼り番をする場合は台地(白布等)に番号を記入し四辺を縫いつけること。
1. 背番号:縦30cm×横30cm位
2. 胸番号:縦15cm×横15cm位
⑨一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープも不可とする。

(7) 試合時間

<u>1回戦から準決勝まで</u>

①試合時間 ： 70分 （前・後半35分）
②ハーフタイムのインターバル ： 原則として10分（前半終了の笛から10分後を後半キックオフとする）
③試合時間内で勝敗が決しない場合は、PK方式（3人制、その後サドンデス）により勝敗を決定する。
④PK方式に入る前のインターバル ： 1分
⑤アディショナルタイム表示 ： 実施する

<u>決勝戦のみ</u>

①試合時間 ： 70分 （前・後半35分）
②ハーフタイムのインターバル ： 原則として10分（前半終了の笛から10分後を後半キックオフとする）
③延長戦に入る前のインターバル ： 3分
④延長戦 ： 20分（前・後半10分）
⑤PK方式に入る前のインターバル ： 1分
⑥アディショナルタイム表示 ： 実施する

(8) マッチコーディネーションミーティングの実施

kick off 70分前にFP及びGKの正副両方のユニフォームを持参し本部に集合する。
必須出席者：各チーム代表1名、主審、副審2名、本部担当役員

(9) その他

①第4審判員 ： 任命しない。
※試合会場の運営役員が兼務する。
②負傷者の対応 ： 主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。
③チームベンチ ： ピッチ上本部からフィールドに向かって
左側・・・対戦表の上（左）に記載されているチーム
右側・・・対戦表の下（右）に記載されているチーム

懲　　罰

(1) 所属リーグで未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。
ただし、警告の累積による場合を除く。
(2) 本大会は（公財）日本サッカー協会「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設ける。
(3) 大会規律委員会の委員は1種委員会社会人の委員長をはじめ社会人委員会役員ほか各地区役員とする。
(4) 本大会期間中に警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
(5) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、
大会規律委員会において決定する。
(6) 本大会および東海大会と全国大会を途中棄権した場合、以後の処置は1種委員会社会人にて裁定する。
(7) 本大会要項に記載のない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。
(8) 本大会において規定違反をした場合は、その試合を没収試合とし以後の処置は大会規律委員会にて裁定する。

そ の 他 ①

(1) 天候等による中止時の扱い
試合の成立は前半終了時点とする。前半途中又は前半終了時に同点の場合は抽選を行なう。
抽選者は各チーム1名選出する。抽選は県協会から指定した場所で開催する。
(2) 1回戦、2回戦は、主審・副審ともに各チームの帯同審判で実施する。
準決勝の主審は、県協会審判委員会より派遣とし、副審は各チームの帯同審判で実施する。
決勝戦は、主審および副審を県協会審判委員会より派遣する。
帯同審判は、主審は3級、副審は4級以上の資格を有する者とする。
担当する帯同審判が試合開始に間に合わず不在の場合は、審判棄権とみなし当該チームの試合を没収試合とする。
大会を途中棄権したチームは、審判担当試合（副審含む）の審判業務を対応する。
①審判服は黒色のシャツ、ショーツ、ソックスを着用し、審判員ワッペンが貼れるシャツを着用すること。
②腰番号の付いたショーツは審判服として認めない。
③試合開始<u>30分前</u>までに審判証を持ち、審判のできる準備をし大会本部に来ること。
④審判証には写真が登録してあること。（WEBでの提示も可）
⑤審判服の下にジャージやピステを着ないこと。
(3) ベンチ入りはチーム役員6名以内、控え選手7名以内の13名以内とする。
(4) 交代要員はビブスを着用する。
(5) ハーフタイムのピッチ内立ち入りは、当該試合の両チームの選手及び役員のみとする。
(6) ハーフタイムのピッチ内練習は、交代選手7名以内と役員2名以内とする。
(7) 試合中のウォームアップはボール使用不可とする。
(8) 第1試合の両チームでグラウンド準備を行う。
(9) 最終試合の両チームでグラウンド整備と後片付けを行う。
(10) 車、バイク（自転車含む）等は、指定された場所(駐車及び駐輪場)に停めること。
(11) 指定された場所以外での喫煙はしないこと。
(12) 施設(グラウンド等)に設置されたゴミ箱にゴミを捨てないこと。ゴミは必ず持ち帰ること。
(13) 使用した更衣室等は、必ず掃除しその後 県協会役員に確認してもらうこと。
(14) 試合中の飲水については各チームに於いてピッチサイドに準備するスクイズボトルからとする。
(15) 登録選手一覧及びエントリー表など提出された個人情報は、大会運営以外には使用しません。
(16) 大会期間中の事故（物損等含む）については、主催者側は一切責任を負わない。
(17) 参加選手の負傷については各チームで処置を行い、主催者側は一切責任を負わない。
(18) 各チームともスポーツ安全保険に加入すること。
(19) 大会会場に着いたら、大会本部に出向いて会場の諸注意を確認すること。

そ の 他 ②

(1) 何らかの理由によって、サッカー協会より開催自粛のアナウンスがあった場合は、本大会を中断または
中止する事も前提に開催する。中断または中止の場合、1種委員会社会人により今後の対応を協議し決定する。